

3

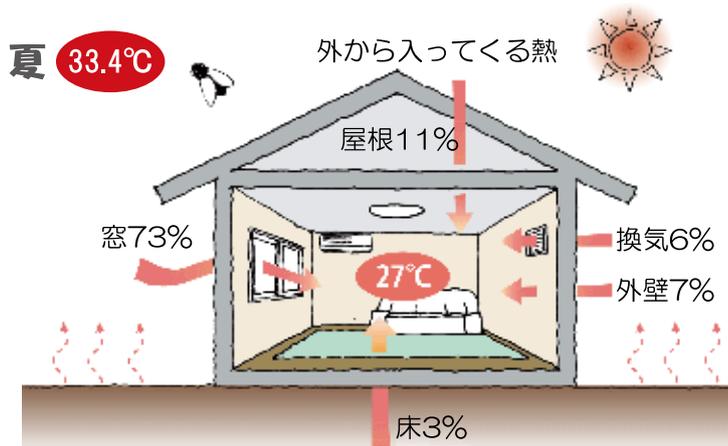
建物の熱の遮断

3-1

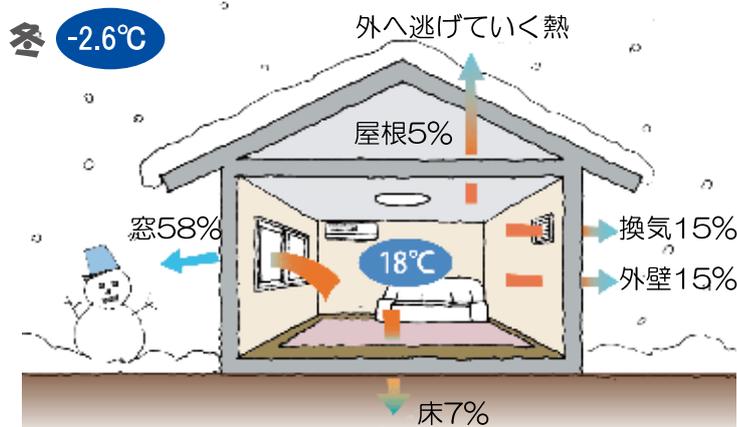
断熱のための基礎知識

建物の熱はどんなふう to 動いている？

下のふたつの図は、一般的な住宅の夏と冬の熱の出入りを示したものです。



夏も冬も、窓（開口部）からの熱移動がとても目立ってるのね…



夏は屋根からの熱も多いのね…
冬は壁や床からも熱が逃げていかないようにしないと…

建物を取り囲む屋根や天井、外壁、窓、床など、さまざまな部分を伝って熱は出入りしています。熱の進入や熱の流出を防いだり（断熱）、夏において日差しを反射したり（遮熱）することは、無駄なエネルギー消費を減らし、快適な室内環境を保つためにとても重要になってくるのです。



熱の移動を防ぐ断熱



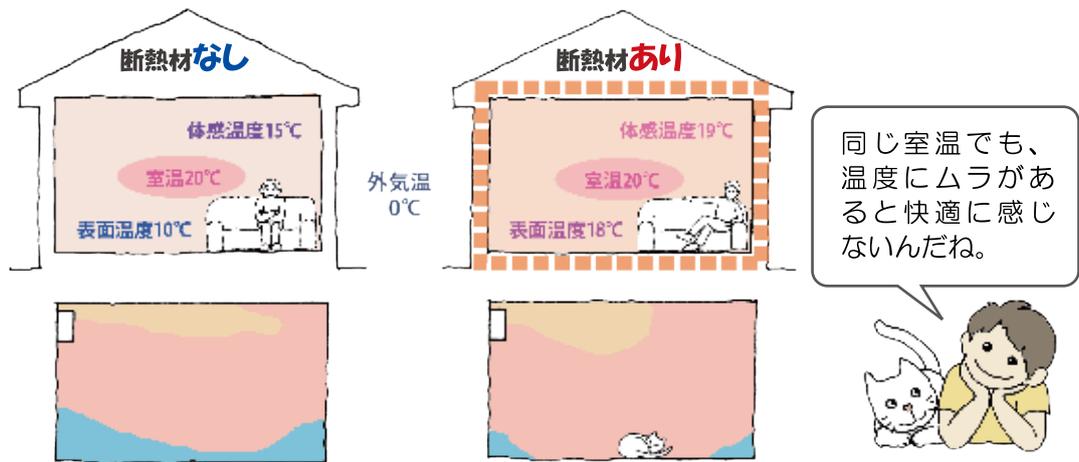
熱を反射する遮熱

3 建物の熱の遮断

3-1 断熱のための基礎知識

温度ムラのない快適な室内環境を目指そう！

冬場において、断熱が不十分な住宅は、室内を暖めても部屋の表面温度が上がりにません。同じ室温でも適切に断熱を行った住宅は、部屋の表面温度も上がり、温度ムラのない室内環境をつくることができ、体感温度も高く快適に感じます。



豆知識

急激な温度変化が引き起こす ヒートショック

浴槽と洗い場、浴室と脱衣室など温度変化の激しいところを移動すると、血圧が急変します。このようなヒートショックによって年間1万人以上の方が亡くなっていると言われています。温度差をなるべく生じさせない適切な断熱を行きましょう。



豆知識

構造体内部に生じる湿気防止対策を！

室内側には湿気を通さない防湿シートを設置し、外気側には湿気を通す通気層と透湿防水シートを設置することで、断熱材内部の湿気をなくし、結露を防止します。

